

## 改善報告書

令和 8 年 7 月 3 日

1. 大学名：宇部フロンティア大学

2. 認証評価実施年度：令和 5 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2－1

○心理学部心理学科において、収容定員充足率が 0.7 倍未満となっているので、収容定員充足に向けた改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2－1 について

収容定員未充足改善に向けて、併設する短期大学部と連携し、全学の教職員による学生募集活動を実施した。学外で開催される進学相談会や高校内での進学説明会、学校紹介ガイダンス等への積極的な参加を通じて、志願者確保に努めた。また、令和 7 (2025) 年度には入試制度及び奨学金制度の見直しを行い、高等学校等への周知を図った。

しかしながら、令和 6 (2024) 年度及び令和 7 (2025) 年度の入学者数は、令和 5 (2023) 年度と同程度にとどまり、入学定員の未充足が継続した。18 歳人口の減少や県内高校生の大学進学率の動向など、学生募集を取り巻く環境が年々厳しさを増していることを踏まえ、適正な入学定員数について検討を行った。

その結果、令和 7 (2025) 年 7 月 25 日開催の理事会において、心理学部心理学科の入学定員を令和 8 (2026) 年度から 70 名から 40 名へ変更し、収容定員を 170 名とする学則改正を決定した。

令和 8 (2026) 年度の入学者数は 45 名となり、変更後の入学定員 40 名を上回ったことから、入学定員充足率は 113%となった。一方、収容定員充足率は 57%にとどまっているため、今後も広報活動の充実や募集施策の強化を図り、入学者数の維持・確保に努めることで、収容定員充足率 0.7 倍以上の達成を目指す。

・定員充足率の推移（過去 3 年間）

|          | 令和 6 (2024) 年度 | 令和 7 (2025) 年度 | 令和 8 (2026) 年度 |
|----------|----------------|----------------|----------------|
| 入学定員 (人) | 70             | 70             | 40             |
| 入学者数 (人) | 33             | 34             | 45             |
| 入学定員充足率  | 47%            | 49%            | 113%           |
| 収容定員充足率  | 55%            | 52%            | 57%            |

5. エビデンス（根拠資料）一覧

**基準項目 2－1 の資料**

- ・ 宇部フロンティア大学学則（令和 8 年度）
- ・ 理事会議事録（令和 7 年 7 月 25 日）
- ・ 収容定員関係学則変更届出に係る資料（学生確保に係る見通し資料）